



医療情報学科

AIでは実現できない
「温かい心」を持った人材を育成

AIでは実現できない「温かい心」を持った人材を育成

学科が目指す 育成人材像

近年、病院の事務部門は、ITの進展により大きな変革を迎えています。例えば、医療費の請求は、手書きのレセプト(第1世代)からコンピュータでの作成(第2世代)へと、更には電子カルテとの連動(第3世代)により、一層効率化が図られています。またコロナ禍でのオンライン診療の急速な進展、さらに医療DXによる改革といった新たな第4世代に突入しています。TISTでは、第4世代で活躍する「ITに強い病院事務」を育成します。

Point 1

「1年次前期共通カリキュラム」じっくり学んで、コースを選択!

どちらのコースで入学しても1年次前期は共通して病院事務の基礎知識を学習しながら、自分の興味関心の方向性を見極めることができます。後期に改めて自分に合ったコースを選択できるので、より鮮明に未来の自分をイメージできます!



Point 2

医事コン、電子カルテ...医療ITを活用できる人材育成

地域医療情報システムの活用など、今後の医療業界の動向を見据え、必修カリキュラムとして医事コンピュータや電子カルテの技術を習得します。医療の現場で役立つ資格取得は、即戦力として活躍する大きな武器となります。



Point 3

医療機関と連携した充実の実習プログラムだから就職に強い!

TISTで学んできたことが実際の医療現場でどう活かされているのかを2回または3回の病院実習で体感し、将来の方向性をより確かなものにします。学校と地域の医療機関が連携することで「実習から就職へ」と繋げます。



医療IT・診療情報コース

2年課程



病院のことを幅広く知り、患者さんの心を支える
「医療のトータルサポーター」を育成します。



病院事務の知識に加え、医療秘書や医師の事務サポートの技術を詳しく学ぶことで、患者さんの求めに応じた質の高いトータルサポートが可能となります。接客マナーをしっかりと身に付け、気配りと思いやりの気持ちを持って患者さんの心を支えます。

医療・おくすりコース

2年課程



薬剤師に代わる
「一般用医薬品販売のスペシャリスト」を育成します。



病院事務の知識に加え、一般用医薬品(かぜ薬や鎮痛剤など)の取り扱いができる医薬品登録販売者の資格を目指します。医療機関だけでなく、企業からのニーズも高い注目の資格です。

▶ 診療情報管理専攻科

1年課程

医療IT・診療情報コースを修了後進学



ドクターの信頼を担い、
第一線で活躍する「医療のエキスパート」を育成します。



医療機関では、医療情報の収集・管理ができる「診療情報管理士」が活躍しています。現役ドクターによる講義や電子カルテなどの実技演習で専門性を養い、3回の病院実習で応用力を身に付け「質の高い医療」に貢献できる人材を育成します。

医療情報学科の魅力

「医療DX」に対応したカリキュラム

医療ITの活用を
必ず学べるカリキュラムで
業界の未来を支える!

「医療DX令和ビジョン2030」では、複数の医療機関でカルテ情報を共有できる医療ネットワークシステムを作るため、電子カルテ普及率を2030年までに100%にすることを目標としています。DXを進めるためにはまず、医療現場のIT化を進めてDXの土台を作る必要があります。TISTでは、情報共有を円滑にする「電子カルテ」や「医事コンピュータ」などの技術を必修カリキュラムで習得します。

